

事業番号	05 05 05	事業改善シート(27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	(信州ACE(エース)プロジェクト関連) 信州ACE(エース)プロジェクト普及・発信事業				担当課	部局	健康福祉部	
						課・室	健康増進課	
総合5か年計画	プロジェクト	4-1-1 健康づくり・医療充実プロジェクト			E-mail	kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 1 保健活動の推進				実施期間	H27 ~	

1 事業の概要

目指す姿	県民参加のもと、生活習慣の改善に取り組み、県民一人ひとりが生きがいを持ち、健やかで幸せに暮らせる「しあわせ健康県」の実現を目指す。		
現状(予算編成時)	<p>しあわせな暮らしの基礎となる県民一人ひとりの健康を更に増進するため、本県の課題である脳卒中などを予防するための生活習慣の改善に取り組む県民運動を、県民、関係団体、市町村、企業等の参加のもと展開することとしている。</p> <p>【健康課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県における3大死因 1位がん、2位心疾患、3位脳卒中 (「生活習慣が発症・進行にかかわる疾病」 ※厚生労働省「H25人口動態調査」) ・成人男性の約6割、女性の約5割が高血圧か血圧が高め ・成人男性の約3割、女性の約2割が肥満 ・成人男性の約2割、女性の約1割強が糖尿病又はその疑い ※長野県「県民健康・栄養調査」 		

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施: 実施中	【左記の説明、根拠法令等】 ・しあわせ信州創造プラン ・信州保健医療総合計画 ・感染症予防事業等国庫負担(補助)金交付要綱
----------	-------------------------------------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	健康づくりのために運動や食生活に関する取組を行っている人の割合					
	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に関すること 69.6% (H27) ・食生活に関すること 増加 (H25の実績値(87.2%)が、H27年度の目標を超えているため) 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	普及啓発・情報発信事業	直接・委託	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等が行う健康づくりの取組紹介やACEネットワーク参加者同士の情報共有・意見交換のためのサイト(SNS)の構築 ・テレビ、ラジオ、新聞等の広報媒体を活用した県民への発信 ・ポスター、中吊広告等による普及啓発 	390	390	3,781
	県民大会の開催	直接	健康づくりに取り組むためのイベントを開催し、健康課題等に関する意識啓発を図るとともに、健康づくりに取り組むきっかけを広く県民へ提供	588	588	558
			合計	2,884	2,884	4,339

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算			2,884	4,339
	補正予算				
	合計(A)	0	0	2,884	4,339
	一般財源			1,090	4,060
	県債				
	国庫支出金			294	279
	その他	0	0	1,500	0
	決算額(B)			2,884	
概算人員費	職員数(人)			0.50	0.50
	概算人員費(C)	0	0	4,138	4,138
	概算事業費(B(A)+C)	0	0	7,022	8,477

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28
		目標	成果	達成状況	目標
取組を行っている人の割合(運動)	62.6%	69.6%	65.7%	未達成	70.6%
取組を行っている人の割合(食生活)	84.6%	87.2%より増加	84.6%	未達成	増加

目標に対する成果の状況	モニター調査の結果、健康づくりのために運動や食生活に関する取組を行っている人の割合は目標値に達しなかったが、運動の取組を行っている人は、3.1ポイント上昇した。 運動については、60代以上の高齢層の取組が76%以上であるものの、30代~40代の取組状況が50%程度にとどまっている。健康づくりのために食生活に関する取組を行っている人の割合(県政モニター調査結果)はH24の84.5%から、H25、87.2%、H26、84.6%と高率のまゝ維持されているが、H25年度とH26・27年度は県政モニターが交替したため、モニターの年齢構成が変わり、数値が減少した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 今後は県民の健康づくりへの意識を高めるため、県民一人ひとりの行動変容につながるような映像媒体を活用した情報発信を行うとともに、イベントやセミナーなどを実施し普及、発信に努めていく。
--------------------	---